

ボランティアNEWS

第21号(2008年12月)

11月のボランティア研修「縮景園をめぐる」の報告

11月15日、抜けるような晴天のもと縮景園で研修を行いました。天気が良すぎて暑いぐらいでしたが、園内の木陰は気持ち良く、秋の美しい庭を堪能できました。

さて、縮景園は広島浅野家の初代長晟の命で家老上田宗箇が造りましたが、そのころのお庭は現在とはまるで違う姿をしており、もっと簡素で素朴な味わいを持っていました。それを、7代目藩主重晟が天明3年(1783)から6年の歳月をかけて改修を行い、現在見られるような華麗な姿に変わりました。縮景園は中央に設けられた池の周りを巡りながら庭の景色を楽しむ回遊式庭園で、歩きながら変化に富んだ景色を楽しめるように工夫がこらされています。今回の研修では園を巡りながら、縮景園の本来の楽しみ方についてお話しをさせていただきました。お話しだけでは想像しづらいところもありましたので、江戸時代の絵や、戦前の絵葉書などを持っていきました。

園をとりまく環境が江戸時代とは激変しており、本来の庭のあり方が分かりにくくなっているところが多々あります。例えば！現在の縮景園は周辺が小高い木で覆われています。周りの近代的な街から隔絶された雰囲気、これはこれで趣がありますが、江戸時代の縮景園は現在よりも開放的でした。何故かという、この頃の庭は周辺の景観を「借景」として取り込んでいるからで、この借景によって庭は空間の広がりを持つことができました。庭からは、北に二葉山、南に瀬戸内海を望むことができ、それを楽しむ工夫もこらされていたのです。

こうしたことを説明しながら2時間ゆっくりと園内を周遊しました。参加された19名の皆様、お疲れ様でした。解説があると、縮景園の魅力は倍加すると思います。今後、縮景園でガイドされる時の一助になっていければ良いなと思います。(本田)



戦前(左)と現在の超然居周辺の様子を比べてみましょう。現在は後ろの木が随分高いことがわかります。

「古文書講座」を開いていただきました。

ちょっと前の話になりますが、7月ごろに、あるボランティアさんから「古文書講座をやらしてくれないか」との提案がありました。広島城などが主催して10月4日に開催が予定されていた、「砂持加勢まつり」に向けて機運を盛り上げようと、「砂持加勢図」をご自身が講師として読



み説く、という内容です。ボランティアさんからの事業提案は初めてのことで、即座に「やりましょう」ということになりました。当方は内容には一切タッチせず、広報や資料印刷のお手伝いをしたぐらいで、ほとんど「丸投げ」のようなスタンスをとりましたが、9月23日の当日は、2時間の持ち時間では足りないくらい熱心に指導され、参加者の方々の反応も上々でした。ボランティアさん自身が企画・実施した初めての活動実績を積んだという点ばかりでなく、広島城との事業協力という点からみても、3施設合同ボランティアとして意義深い活動となったと思います。(郷土資料館 大室)

今年も開催！「だがしづくり広場」～郷土資料館～

「だがしづくり広場」はむかしの食べ物やあそびを体験できる文化の日恒例のイベントです。館内外に砂糖の甘い香りと挽きたての黄な粉やソースの香ばしい匂いが漂い、コマや竹トンボであそぶ子供たちの歓声が上がりました。参加のボランティアさんも、



今年もたくさんのお客様でした。

カルメラ焼や一銭洋食、藍染やヨーヨー釣りなど、昨年参加されたり他のイベントで経験を詰まったりで手馴れたもので、お客様の列ができて安心してお任せできました。本当にありがとうございました。今年ご都合がつかなかった方、来年は是非いっしょに楽しみましょう。(郷土資料館 前野)



ヨーヨー釣り。手つきも慣れたものです。



カルメラ焼。上手にふくらむかな？

文化財課から講演会のお知らせです

文化財課では来たる 11 月 29 日（土） 広島市こども文化科学館アポロホールにて、**広島**の文化財講座「江戸に聴く～町とエコロジーの未来～」を開催します。法政大学教授の田中優子先生を講師に迎え、江戸時代の人々の自然に優しい暮らしとその背景にある価値観について、お話しいただきます。

当時世界でも有数の大都市であった江戸には、物の循環システムがしっかりと成り立っていました。物を大切に使う、再利用できるものはとことんまで再利用する、ゴミをゴミのままで終わらせない…。最近よく耳にするエコロジーという言葉、江戸に生きた人々は日々の生活の中で実践していたのです。その実態は、恐らくみなさんが考えている以上に徹底したものです。その詳しい様子を、豊富な資料を用いて紹介していただき、これからの私たちの生活についても考えてみたいと思います。中央でご活躍



田中優子先生は、美術、音曲、生活文化、海外貿易、経済など様々な角度から江戸時代について研究なさっておられる、江戸学の専門家です。

の先生のお話をナマで聞くことのできる、貴重な機会です。歴史や江戸時代について学びたい方はもちろんのこと、環境や自然に優しい暮らしに興味のある方も、ご来場をお待ちしています！

入場料は無料ですが、整理券が必要です。整理券は、こども文化科学館 1 階インフォメーションにて、当日 12 時から配布します。先着順で、230 人に達した時点で配布は終了となります。参加ご希望の方はお早めにご来場ください。

なお、当日会場で入場者を案内する運営ボランティアを募集しています。詳細は募集記事をご覧ください。ご希望の方は、文化財課までご連絡ください。（文化財課 中原）

12月の研修のお知らせ 今回は2つあります！

広島城分 12月と言えば、忠臣蔵！ ということで次回の研修は赤穂事件と広島に関わりについて勉強します。日時は12月6日の13時から、集合は広島駅（予定）です。参加される方は**必ず事前に**広島城にご連絡ください。なお、国泰寺への移動を行います、そのための交通費（片道・410円程度）は自己負担となりますので、よろしくお願いたします。

文化財課分当初予定の研修ではなかったのですが、皆様のご要望にお答えして「泥めんこ作り」の講習を行います。日時は12月9日 - 11日の9時30分から12時までで、3日とも同じ内容です。参加される方は文化財課までご連絡ください。よろしくお願いたします。

募集しま〜す!

1 研修会のご案内 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業名	内容	会場(担当施設)
12月6日(土) 13:00~16:00	赤穂事件と広島を歩く	赤穂事件に関連した寺院などを回しましょう。	東区周辺 ご希望の方は広島城までご連絡下さい。
12月9日(火) ~11日(木) 9:30~12:00	泥めんこ作り	泥めんこの作り方及び遊び方指導の講習。 (3日とも同じ内容です。ご都合の良い日にご参加下さい。)	文化財課 ご希望の方は文化財課までご連絡下さい。

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください! 事前に各担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場(担当施設)
11/29(土) 12:30~16:00	文化財講演会 「江戸に聴く~町とエコロジーの未来~」	会場内運営の補助。	中区 広島市こども文化科学館 (文化財課)
12/7(日) 9:30~15:30	2008文化祭 「縄文ペンダント作り」	縄文ペンダント作りの指導	東区 心身障害者福祉センター (文化財課)
12/10(水) 13:00~15:00	出張事業 「はたおり体験」	はたおりの指導	東区 戸坂ふれあいサロン (文化財課)
12/14(日) 13:00~16:30	出張事業 「地域の自然観察と縄文ペンダント作り」	縄文ペンダント作りの指導	東区 温品小学校 (文化財課)
12/21(日) 13:00~15:00	教室事業 「餅つき体験」	餅つきの指導	郷土資料館

広島城	担当/玉置・本田	TEL 082-221-7512 FAX 082-221-7519 メールアドレス 玉置 tamaki@rijo-castle.jp 本田 honda@rijo-castle.jp ホームページ http://www.rijo-castle.jp
郷土資料館	担当/大室・山縣・前野	TEL 082-253-6771 FAX 082-253-6772 メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp ホームページ http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/
文化財課	担当/中原・荒川・田村	TEL 082-568-6511 FAX 082-568-6513 メールアドレス 中原 naka@mogurin.or.jp 荒川 ara@mogurin.or.jp 田村 tam@mogurin.or.jp ホームページ http://www.mogurin.or.jp